



肺がん検診

胸部エックス線検査 40歳以上の男女・1年に1回

高知県民のがんの中で 一番死亡率が高い部位です。

特に、男性の罹患率は女性の罹患率の3倍～4倍にのぼります。
40歳代から増加し始め、高齢になるほど罹患率が高くなります。

● 検査項目

胸部エックス線検査

肺全体をエックス線で撮影し、異常がないかを調べる検査です。
検査時間は数分で、痛み等もありません。



検診医による検診のススメ

高知県健康審査管理指導協議会肺がん部会 部会長 横山彰仁

肺がん検診は皆さんご存じの胸のレントゲン写真で行います。毎年、定期に検診を受けていくことが早期発見に重要です。また、たばこを吸う方には必須の検査のひとつです。たばこは肺がんの原因ですが、40歳までに禁煙すれば影響は非常に少なくなります。検診と禁煙で健康長寿をめざしましょう！



がん検診は、 40歳から 受けれるで。



※女性は20歳から子宮頸がん検診が受けられます。